

入選

「蛇口をひねれば、水は出る。」

高岡市立牧野中学校 一年 柚原 加歩

みなさんは、「PFAS」という化学物質を知っていますか？この化学物質のニュースを見たという人もいます。私はこの「PFAS」について調べた。

まず、「PFAS」とは何か、簡単に説明する。「PFAS」とは、有機フッ素化合物のうち人工的に作られたフッ素が多い化合物の総称。つまり、人工的に作られたフッ素の多い化学物質のことだ。油脂や水をはじき、汚れを防ぐ性質があるため、さまざまな製品に使われている。だが、こんなに便利な物質でも長所ばかりではない。この「PFAS」は人体に有害な影響を及ぼす可能性があるものと指摘されているということだ。この物質は免疫に影響を及ぼしたり、肝臓の損傷、体に長く残留する。という所がある。さらに、日本各地で調査、検査を行うと、沖縄や東京・多摩地区、大阪などの地域で水の汚染が起きていることが明らかになっている。

そして、一番気を付けないといけないことは、水道水まで汚染を広げてしまう。ということだ。この問題は、テレビでも見たことがある人もいるのではないか。知らない内に、あなたも摂取しているかも知れない。体に問題が起きてしまうかも知れない。そこで、全国では水道に関わっている人達が、水質の検査等を行い、安全かを確かめたり、濃度が濃くなりすぎないように管理をしている所もある。この問題には多くの人が関わっているのだ。

私は将来、人の健康を守るような仕事につきたいと考えている。人が健康に暮らすためには安全な水が欠かせないと考える、水の汚染というこれまででは、生活排水が川に流れこんだり、ゴミのポイ捨てなどで川や海などがよごされるイメージが強かったが、今回化学物質が流れることでも地下水が汚れ、飲み水まで汚染されることを学んだ。人の健康な生活に欠かせない安全な水がじゃ口をひねれば必ず出て

くるということがとてもすごいことだということも小学生の時に学んだ記おくがある。そんなすごい日本の水道を未来につなげていくために、私は水を汚すような人ではなく、水を守れるような人になりたいと思った。

今の私ができることは小さなことかも知れない。ゴミを川や海へ捨てない。市のルールを守り、ゴミの分別をする。このような事しかできないかも知れない。でも、少しの「まあちよつとくらいなら良いか。」という油断がみんなの中で積み重なってしまうと思いたくないような環境、ひいては水の汚染につながってしまうのだと思う。

水道にたずさわっている人達は、安全でおいしいキレイな水を毎日二十四時間たえまなく私達のじゃ口まで届けてくれている。こういった事を当たり前の事と思わず、今このしゅん間も水道のために働いてくれている人がいることを忘れず、感謝の気持ちを持ち続けたいと思っている。

水道の安全性「PFAS」の問題について説明したが、日本の水道がかかえている問題はそれだけではない。高度経済成長期に多くの水道管が敷設されたことにより、現在、多くの水道管が老朽化しており、全国各地で漏水事故が起きている。また、人口が減っているため、料金収入も減っており、老朽化した水道管を新しくしようにもそのお金が、なかなか準備できない。人が生きていく上で欠かせない水道が今、危機にさらされている。私一人ではこの危機を解決することはできないが、みんなできう問題を知ってもらい、みんなが少しずつ考えることで、少しでも解決に近づいていけるよう、みんなと一緒にこの問題について私は考え続けたい。